



1st チャレンジャー

●星 智子 (ほしともこ)
●1985年生まれ25歳
●職業 会社員
●趣味 釣り、コスプレ

第1次審査 vol.1

相模湾
小坪港出船
沖ノ瀬のアマダイ
&カイワリ五目
相模湾小坪港 椿丸

写真/文●本誌編集部

女性読者モデルオーディション
DOKUMO
ドクモスタート
2012
参加者
大募集



食べるのが
楽しみです!!

初めて釣りました♡

♡苦勞して釣った初めての
カイワリ。それはもううれし
そうでした



▲沖ノ瀬の90~100メートルを狙った



♡3尾目の
カイワリは
キダイとの
一荷



♡後半は
タックルの扱い
にも慣れたよう
で、余裕の
巻き上げ

「へえ」
また
釣りの上手だね♡

▶カイワリは36センチの良
型も出た
▼掛かったヒメに食ってき
たマトウダイ



▲キダイは定番ゲスト。日によ
っては数釣り可能



▲オキメバルは必ずとい
ていいほど掛かってくる

▲きれいな魚体はシキシマハナダイ



▲本日最大は45センチのアマダイだった

Impression

智子の感想

♡初めて経験した
重いタックルに慣
れるまで苦勞しま
した。カイワリが
釣れたときは、引
きの強さにびっく
り。色いろな魚に
会えて、それだけ
でもいい経験がで
きたと思っています。



そんな顔をしていたが、船長から高級魚と知らされて大喜び。このころから船中ではどこかで何かしら魚が釣れ上がる状態となる。船長や常連さんによれば、これが普通なのだという。彼女はヒメやウマヅラなどのエサ取りにも悩まされながら、計3尾のカイワリをゲット。ユメカサゴ、キダイなどを合わせてお土産は十分。午後1時半の沖揚がりまで休むことなく竿を出し続けた。船中では25~36センチのカイワリを0~5尾、45センチのアマダイを筆頭に、キダイ、オニカサゴ、キツネダイ、キントキなど多彩な魚が交じった。初めての電動リール、初めてのコマセ釣り...、とにかく初めてづくしの彼女だったが、港に帰ってテキパキと片付ける姿は一人目の沖釣り師の風貌。ひよっとしたらもう、どこかの港に出没しているかも。

椿丸船長の目
椿 信明 船長 17点
(テクニク中心に20点満点で採点)
●電動リールの釣りが初めてにしては上出来です。もう少し釣ってもらえれば点数を加算したんですが(笑)。

Score 総合得点 79点
※この点が一次審査の持ち点になります

100点満点

ドクモスカウト事務局代表
徳永 隆也 23点
評価 毎晩、近所の海岸でシーバス釣りにいそんでいる彼女、電動リールを始めみるみるタックルを使いこなしたのはお見事。もう少し周囲の人たちとコミュニケーションを取り立派なコスプレ釣りガールになれるよ。

A:5 B:4 C:3 D:4

A~Fの項目 30点満点で採点

A: 情熱度...釣りに対する情熱 B: 上達度...実際に体験した釣りのもの、取材当日の上達度 C: 知識度...釣りに関する経験、知識 D: センス...釣りのセンス E: お騒がせ度...船の中でムードメーカーであったか、元気だったか F: 釣果...船中の釣果に対して平均が否か

つり情報代表 本誌発行人
根岸 伸之 22点
評価 今回の釣りは覚えることばかりで大変だったと思う。お騒がせ度が低かったのもそのせいだろうが、その他の部分ではよくがんばった。130号のピシを使って一日手持ちで釣ったのも立派でした。

A:4 B:4 C:3 D:4

A~Fの項目 30点満点で採点

カメラ担当 T 17点
(ビジュアル中心に20点満点で採点)
評価 風が強かったため、なかなかいい写真が撮れずに苦勞した。今度はコスプレ姿を見たい。



私にも釣れるかしら.....



▲エサ、貸しピシ、仕掛けのほかにお茶の缶も2本サービス
◀やや不安な表情で出船を迎える

3期目を迎えたこの連載、記念すべき第1回目のチャレンジャーとして登場していただいたのが星智子さんだ。某サイトのブログランキング「女性アングラー部門」でトップを快走する人気者でもある。ただし、船釣り経験は1~2回の初心者、いきなり電動リールを使っただけは無謀とも思えるが、そういった心配はまったく無用。乗船した相模湾小坪港の椿丸は常時仲乗りさんがつき、タックル、仕掛け、ピシ、エサ、貸しピシ、仕掛けのほかにお茶の缶も2本サービス。やや不安な表情で出船を迎える。

今回は無料、タオルやお茶まで提供してくれるサービスもあるから。今回の釣りはアマダイ、カイワリ五目。本命以外にたくさんのおいしい魚が交じることでも人気がある。午前7時、総勢12名の釣り客を乗せて出船し、1時間ほど走って沖ノ瀬の95メートルルダチに到着する。スタックからタックルの扱い方、釣り方などをコーチしてもらい、皆さんより一足遅れて投入する。船中では早くもカイワリ、キダイなどが上がり始める。アミコマセにオモリ130号のプラビシ、片テン2本バりにオキアミエサを使うこの釣りは、とにかく魚種豊富だ。

電動リールの扱いにもようやく慣れてきたころ、彼女に初めてのあたり。ぎこちない手つきで巻き上げると、なんと30センチ級のカイワリ。初めは不思議



1st challenger Tomoko Hoshi

いつもは陸っぱりでシーバスばかり狙っています。釣り経験は2年ほどですが、船釣りは数回の経験しかありません。この機会に色いろと学べたらいいなと思い、応募してみました。
●ブログ「ちょむ日誌」
http://chomcham.blog.fc2.com/